

事務事業名		生活保護扶助費給付事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	保護係	担当課長名	向田紀之	
	施策	3 地域福祉の推進と生活保障の充実					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 就労支援の強化と生活保護の適正運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6750	一般	3	3	2	生活保護扶助費給付事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和25年度～ 年度			根拠法令 条例等	生活保護法、生活保護法 施行細則				
	事業区分						任意的事業・義務的事業		義務的事業		
	事業区分						実施方法		直営		
	事業区分						事業分類		現金・現物給付事業		
事業区分						リーディングプロジェクト		該当なし			
事業区分						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
保護申請の受理、要否の判定(基準ありー保護の要・否ー保護費の給付の程度)、保護開始、扶助費の給付、被保護者に対する生活の維持向上の指導・指示。		保護申請の受理、要否の判定、保護開始、扶助費の給付、被保護者に対する生活の維持向上の指導・指示						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		相談延件数	件	552	599	600		
		扶助費	千円	1,809,222	1,808,940	1,849,933		
		指導・指示のための訪問延件数	件	2,151	2,226	2,200		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
自分の収入だけでは最低生活を営むことのできない市民。		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		被保護世帯数(年平均)	世帯	944	930	960		
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
生活に困窮している市民が、最低限度の生活を営めるとともに、できるだけ早く自立する。		廃止世帯/被保護世帯	%	13	14	13		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
・相談体制が充実している。 ・最低限の生活を保障する。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		相談件数のうち解決の方向性が見出せた件数の割合	%	100	100	100		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円	1,343,712		1,374,669		1,387,449					
	県支出金	千円	55,635		45,612		55,500					
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	409,875		388,659		406,984					
	事業費計(A)	千円	1,809,222		1,808,940		1,849,933		0		0	
	事業費の内訳	千円	扶助費	1,809,222	扶助費	1,808,413	扶助費	1,849,933				
			償還金		償還金	527						
	人件費	人	12		12		12					
のべ業務時間	時間	12,000		12,000		12,000						
人件費計(B)	千円	46,692		47,292		47,292		0		0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,855,914		1,856,232		1,897,225		0		0		

事務事業名	生活保護扶助費給付事業	担当部	こども福祉部	担当課	社会福祉課	担当係	保護係
-------	-------------	-----	--------	-----	-------	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	憲法第25条によって、保障される生存権を実現するための制度のひとつとして、昭和25年5月生活保護法が制定される。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	保護率は増加の一途にある。制度は、経済的給付中心から自立支援プログラム導入へと移りつつある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	「佐野市は生活保護世帯が多い」との声が聞かれる。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	国の制度であるため、現状維持。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	理由・改善案	生活に困窮している市民に対して、最低限度の生活を保障するとともに、積極的にそれらの人々の自立の助長を図ることは、「生活困窮者の生活安定と自立支援」という施策に合致する。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	理由・改善案	生活保護に関する事務は法定受託事務である。また、経済の状況や雇用情勢など、地域の状況について、身近な立場から実態を把握し、客観的な対応ができるという状況からして、妥当と判断する。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	理由・改善案	被保護者の多くは、高齢者・傷病者・母子世帯などである。また、稼働能力があっても、就労経験が乏しく、不安定な職業経験しかない場合が多い。これらにより、就労への不安が生じ、また、雇用機会の狭小化へと繋がっている。他方、最近の社会経済情勢は、引き続き失業率が高い水準で推移し、求人や収入の減少等、就労に当たっての障害となり、自立できない原因となっている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	理由・改善案	法に基づき適正に行っており、向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業名	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	理由・改善案	厚生労働大臣の定める保護基準に基づき、最低生活費を支給しており、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	理由・改善案	受益者負担は求める性格のものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)		生活保護法に基づく事業のため休止、廃止できない。

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
現状維持(従来通り実施) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			×																					
	低下		×	×																					